

1.はじめに

2019年度は、消費税の反動減で新設住宅着工戸数が減少すると同時に、人口減少による労務費の上昇や、配送の需給引締めによる運賃の高止まり、原油の高騰による原材料費、エネルギー費の上昇といった複数の要因により、弊社収益は大きく減少することとなりました。2020年度は新型コロナウイルスの影響による世界規模の景気減速により新設住宅着工戸数は大幅に減少するものと予測されます。また、年々増加している大型台風などの自然災害リスクについても懸念されます。このような環境の中、経営においてはテレワークをはじめとした働き方改革に加え、SDGsを軸とした、環境配慮型運営がこれまで以上に強く求められる時代となってきています。

当社といたしましては、環境配慮型商品であるMDFの更なる付加価値追求により住宅建材市場でのシェア拡大を図り、製造・販売のプロセス改善においては、省エネ・リサイクルをより色濃く反映させた取り組みを実施し、中長期的な視点での経営目標を定め、経営計画へ落とし込み、これを確実に実現することで、収益基盤の確立と安定を目指します。

2.経営目標

- 1) 品質改善への不断の取り組みによる顧客満足度の向上。
- 2) 調達コストと投資効率を意識した積極的な設備投資。
- 3) 製造・販売プロセス及び、エネルギー調達における環境配慮型改善の強化促進。
- 4) 生産活動の継続的改善による収益力の向上。
- 5) 海外仕入先との連携強化により顧客ニーズに幅広く応えられる供給体制の確立。
- 6) 原材料調達の安定的なパイプの確保。
- 7) 業務提携先との人材及び技術交流による関係強化。

3.重点施策

- 1) 高付加価値製品の収益基盤強化
生産工程及び、生産条件、原材料の見直しによるコストダウン及び、フロア基材等の品質改善による販売増。
- 2) 生産・販売プロセスの省エネ強化・環境貢献促進
解体材や木粉のマテリアル利用の促進及び、サーマル利用計画の策定。
- 3) 住宅の省エネに貢献できる商品の開発
新たな環境貢献型製品の開発。
- 4) 住宅壁としての構造用MDFの販売促進
MDFの優位性(防音、蓄熱、透湿性のなど)を訴求し屋根野地材、床下材への展開。

4.定量目標 (最終年度)

ROIC - %
EBITDA (2019年度比) - 倍
営業利益率 - %

新型コロナウイルスの影響により、収益を大きく左右する住宅着工戸数の予測が困難であり、中期経営計画の定量目標を合理的に算定することが難しいため、現時点では定性情報のみの開示とさせていただきます。
業績予想が可能となった時点で速やかに開示致します。

5.配当方針

業績に応じた適正な配当を行い、株主還元の実現と財務の安定化を図ります。

配当性向 : 25%以上の安定配当を目指す。